

2008年11月22日

小谷村 村長
小林 三郎 殿

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田温巳
399-9301 白馬村北城 11020

村長の見識を疑う－再質問

当会より貴殿に届けた「署名収集についての公開質問状」（10月28日付）に対し、回答書（10月30日付け）をいただいています。その中で、貴殿は、『署名は「新ごみ処理施設建設促進を求める小谷の会」が実施したものであり、公的組織を使ったものではない』と述べています。

しかしながら、貴殿は地区連絡員に『「新ごみ処理施設建設促進を求める小谷の会」の署名活動への協力について』という依頼文書（添付資料1参照）を届けています。「村長が、自分の考えに沿った署名を公式に応援してどこが悪いのか！」との、姿の見えない反論も耳に届いています。これらの事実には、住民自治の根幹を揺るがす2つの重大な問題点があります。

1. 貴殿が住民団体の取り組む署名運動に関する協力依頼を行なったことで、住民の請願権の性格がゆがめられています。署名の提出先が、貴殿と同じ立場に立つ広域連合長・白馬村長なのですから、「やらせ」のそしりを免れません。

2. 行政組織を支える（白馬村の区長に相当する）連絡員への依頼が、自らに有利なことは行政組織を使ってもよいと考える、著しく公共性（公正・公平）を欠く判断です。また、一部とはいえ署名集めが回覧で行なわれたことや、署名の届け先事務局が役場総務課庶務係（添付資料2参照）だったことについては論外です。

この2つの問題点について、2週間を目途に貴殿の誠意ある回答を求めます。

以上

(添付資料1)

平成20年8月27日

地区連絡員 様

小谷村長 小林 三郎

「新ごみ処理施設建設促進を求める小谷の会」
の署名活動への協力について（依頼）

日頃、地区連絡員の皆さんには村の行政事務の円滑な運営と村民の福祉の増進を図るために多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、北アルプス広域連合のごみ処理広域化計画は、昨年2月23日に広域新ごみ処理場建設候補地が、白馬村飯森に決定し、その進捗が図られると安堵していました。しかし、候補地での建設を心配する皆様の運動が現在も続けられており、その現状を憂慮しているところです。

小谷村としても、将来の負担や環境問題を考慮しますとこの計画を進めて頂くことが大変重要であると考えております。

このような状況の中で、「新ごみ処理施設建設促進を求める小谷の会」が設立され、計画推進のための署名活動をして頂くことに対し大変ありがたいと思っております。

つきましては、公私ともお忙しい折とは存じますが、「新ごみ処理施設建設促進を求める小谷の会」の署名活動にご協力を賜りますようお願い致します。

(添付資料2)

平成20年8月27日

地区連絡員 様

新ごみ処理施設建設促進を求める小谷の会

代表 杉山 寿 二

新ごみ処理施設建設促進に関する陳情に伴う
署名活動への協力について

残暑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私たちは、行政や議会から集落起業事業などの説明会を通じて、ごみ処理施設の必要性や経済性並びに安全性について認識したところです。

また、議会では「広域ごみ処理場建設推進を求める意見書」を北アルプス広域連合長宛てに提出を行い、広域処理場建設を計画どおり推進するよう要望したところであります。

行政の説明会や議会の意見書提出する中で、小谷村民からも「白馬村飯森地区」を広域新ごみ処理場建設候補地とした、ごみ処理広域化計画を推進する署名活動を始める動きが高まり、8月26日に新ごみ処理施設建設促進を求める小谷の会を設立いたしました。

北アルプス広域連合長及び白馬村長あて別紙陳情書により「白馬村飯森地区」を唯一の建設候補地として計画どおり推進していただくよう要望するものであります。

公私ともお忙しい折とは存じますが、貴地区内の賛同者署名活動についてご足労ですがご協力をお願い申し上げます。

*署名とりまとめ期限及び提出先

期 限 9月10日(水)

提出先 事務局 小谷村役場総務課庶務係までお願いします。